

※磯城休日応急診療所（日曜日、祝日／午前10時～正午、午後0時40分～4時／☎33-8000）を受診の際、乳児などの受診に関しては、専門医の診療が必要な場合がありますので、事前に電話でお問い合わせください。

■成人のための検診・相談（検診対象年齢は、平成29年3月31日現在の年齢。70歳以上の人は無料／申込制）

※申込みは各検診日の2週間前までにお願いします。

検診名・行事名	日程	対象	方法／内容
胃がん検診	6 / 17(金)・26(日)・30(木) 受 8:30～9:30	35歳以上	内問診、バリウムを飲んでのレントゲン撮影 定 80人 費 900円 申場保健センター
大腸がん検診	① 6 / 17(金)・30(木) ② 6 / 26(日) 受① 10:00～18:00 ② 10:00～12:00	35歳以上	内問診、検便による潜血反応検査 費 500円 申場保健センター
肺がん検診	6 / 17(金)・26(日)・30(木) 受 8:30～10:00	40歳以上 注 65歳以上の人は結核検診とセット	内問診、胸部レントゲン撮影（ ^{かくたん} 喀痰検査は必要な場合のみ実施） 定 90人 費 200円／喀痰検査（容器代）…450円 申場保健センター
B・C型肝炎ウイルス検診	6 / 17(金) 受 9:30～10:30	対象…① 40歳以上で、過去に肝炎ウイルス検査を受けたことのない人 ② 40歳以上で過去の検診などで肝機能に異常のあった人（肝炎で治療中・経過観察中の人は除く） 内問診、血液検査によるB型（HBs抗原）・C型（HCV抗体）肝炎ウイルス検査 定 30人 費 600円 申場保健センター	
歯周病検診	6 / 30(木) 受 9:00～10:00	① 妊婦 ② 30歳以上	内むし歯、歯周病などの検診、歯科指導 定 30人 費無料 申場保健センター 注治療中の人は除く
乳がん個別検診	県内指定医療機関で平成29年2月28日(火)まで	40歳以上の女性（2年に1回の受診）	内マンモグラフィ検査 費 2,800円 申場県内指定医療機関
子宮がん個別検診	注受診票は保健センターで発行しています。	20歳以上の女性（2年に1回の受診）	内子宮頸部（費 2,000円）注医師が必要と認めた場合、子宮頸部と体部がん検診（費 3,500円） 申場県内指定医療機関
健康なんでも相談（時間予約制）	要相談	成人	内血圧、体脂肪測定、栄養・歯科・保健相談など 申場保健センター

■高齢者のための予防接種

予防接種名	日程	対象／方法／内容
高齢者肺炎球菌予防接種	医療機関で平成29年3月31日(金)まで	対象…①平成28年4月1日～平成29年3月31日までの間に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる人 ②接種当日に60～64歳で、内科障害などのため医師が予防接種を必要と認めた人 費 3,000円 注対象者には4月に接種券（ハガキ）を個別通知しました。転入や紛失などで接種券をお持ちでない人は、保健センターまでご連絡ください。

※町内医療機関へは、直接お申し込みください。町外医療機関での接種を希望する人は、事前に保健センターで手続き（自己負担金、認印、接種券）が必要です。生活保護受給者は健康福祉課社会福祉係（☎34-2098）へ事前にお申し出のうえ、自己負担金免除の手続きをしてください。

男性不妊治療にかかる費用も助成対象に

特定不妊治療費用の助成

平成28年4月1日以降に終了した特定不妊治療を対象に、採精するための手術（男性不妊治療）を行った場合も助成対象となりました。

特定不妊治療とは？

不妊治療のうち、体外受精と顕微授精をいいます。

対象

次の条件をすべて満たす夫婦

- ①法律上の婚姻をしている夫婦で、夫婦のいずれか一方が田原本町に住所があること。
- ②都道府県などが実施する「不妊に悩む方への特定治療支援事業」の助成の決定を受けており、他の市町村から助成を受けていないこと。
- ③町税などを完納していること。

助成内容

- 1回の治療（男性不妊治療を除く）につき15万円まで。ただし、凍結胚移植（採卵を伴わないもの）などについては、1回の治療につき7万5000円まで。

- 1回の男性不妊治療につき15万円まで。

申請方法など 申請方法や詳細については町ホームページで確認、または保健センターへお問い合わせください。

※平成28年度の申請は、平成28年4月1日以降に終了した特定不妊治療が対象となります。（平成28年度用の申請書で申請していただく必要があります）

※平成27年度に都道府県などが実施する「不妊に悩む方への特定治療支援事業」で申請し、交付決定日が平成28年2・3月の場合は申請を受け付けています。

6月の健康カレンダー



☎ 保健センター ☎ 33-8000 FAX 33-8010 / 宮古 404 の 7
8:30 ~ 17:15 (土・日曜日、祝日を除く)

自動車でお越しの際は、保健センター専用駐車場をご利用ください。



☎ = 受付 内 = 内容 定 = 定員 費 = 費用 申 = 申込 場 = 場所 注 = 注意

■予防接種 (各種予防接種の内容に関する相談は、保健センターへお問い合わせください)

※ 転入などで予診票を持っていない人は、保健センターへ申し出てください。

個別接種 (町内委託医療機関で申込・実施) 複数回接種のワクチンには、それぞれ定められた接種間隔があります。詳しい内容については、町ホームページをご覧ください。

予防接種名	対象・接種回数
ヒブ	生後2ヵ月～5歳未満(標準接種スケジュール/4回接種) 生後2～7ヵ月未満で開始
小児用肺炎球菌	生後2ヵ月～5歳未満(標準接種スケジュール/4回接種) 生後2～7ヵ月未満で開始
注	生後2ヵ月児にヒブと小児用肺炎球菌の予診票を送付します。生後7ヵ月以降に接種を開始する人やスケジュールから外れた人は、接種回数が変わりますので、保健センターへお問い合わせください。
BCG (結核)	生後5ヵ月～1歳未満(標準接種スケジュール/1回接種) 注なるべく8ヵ月までに接種しましょう。
水痘 (水ぼうそう)	1～3歳未満 (2回接種)
二種混合 2期 (ジフテリア・破傷風)	小学6年生 (1回接種) 注対象者には平成28年4月に予診票を個別通知しました。中学1年生 (13歳未満) で昨年度未接種の人は保健センターへご連絡ください。
四種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)	生後3ヵ月～7歳6ヵ月未満 (4回接種)
麻疹風しん混合ワクチン (MR)	1期: 1～2歳未満 (1回接種) 2期: 小学校就学前の年長児 (平成22年4月2日～平成23年4月1日生まれ/1回接種)

予防接種名	対象・接種回数
日本脳炎 (1期)	3歳～7歳6ヵ月未満(標準接種スケジュール/3回接種) 注3歳の誕生月の末日までに予診票を送付します。
日本脳炎 (2期)	9～13歳未満で1期接種 (3回) を完了した人 (標準接種スケジュール/1回接種) 注9歳の誕生月の末ごろに予診票を個別通知します。
<特例対象者>	
	●平成19年4月2日～平成21年10月1日生まれの人で、1期の接種 (3回) に不足回数がある場合は9～13歳未満の間に不足分を接種することができます。予診票が変更になりますので、保健センターまでお問い合わせください。
	●平成19年4月1日生まれ以前の人で1期の接種 (3回) と2期 (1回) の合計4回の接種に不足回数がある場合は、20歳未満まで不足分を接種することができます。接種を希望する人は、母子健康手帳を持って保健センターへお越しください。
ヒトパピローマウイルス感染症 (子宮頸がん)	中学1年生～高校1年生相当の年齢の女子 (3回接種) 注現在、積極的に接種を勧めていません。なお、接種を希望する人は保健センターまでお問い合わせください。

■乳幼児のための健康診査・相談 (保健センターで実施)

持ち物: 母子健康手帳、問診票 (3歳6ヵ月児健康診査のみ、検尿が必要です)

行事名	日程	対象
乳児健康診査 (4～5ヵ月児)	① 6 / 8 (水) ② 7 / 6 (水) ☎ 13:00 ~ 13:30	① 平成28年1月生まれ ② 平成28年2月生まれ
乳児健康相談 (10～11ヵ月児)	① 6 / 8 (水) ② 7 / 6 (水) ☎ 9:00 ~ 9:30	① 平成27年6月26日～7月25日生まれ ② 平成27年7月26日～8月31日生まれ
1歳6ヵ月児健康診査	6 / 22 (水) ☎ 13:00 ~ 13:30	平成26年10月26日～11月生まれ
3歳6ヵ月児健康診査	6 / 21 (火) ☎ 13:00 ~ 13:30	平成24年9月26日～10月生まれ

■母と子の教室・相談 (保健センターで申込・実施)

行事名	日程	対象	内容
赤ちゃん体操教室	6 / 13 (月) ☎ 9:15 ~ 9:30	ハイハイができるまでの乳児と保護者	☎ 赤ちゃん向けの遊びを中心とした体操の紹介など 定 30人
すこやか子ども相談 (時間予約制)	6 / 23 (木) 午前中	乳児から就学までの児童と保護者	☎ 保健師・栄養士などが、子どもの発育・保育などについて相談を受けます
発達相談 (時間予約制)	随時	発育・発達やことばの遅れなどが心配な人	☎ 発達相談員による個別相談

6月4日(土)～10日(金)は歯と口の健康週間

平成28年度の歯と口の健康週間の標語は「健康も 楽しい食事も いい歯から」です。町では年4回、歯周疾患検診 (無料) を実施しています。この機会にぜひ検診を受けましょう。詳細は保健センターまで。